

CGM（血糖持続モニター）による血糖コントロール

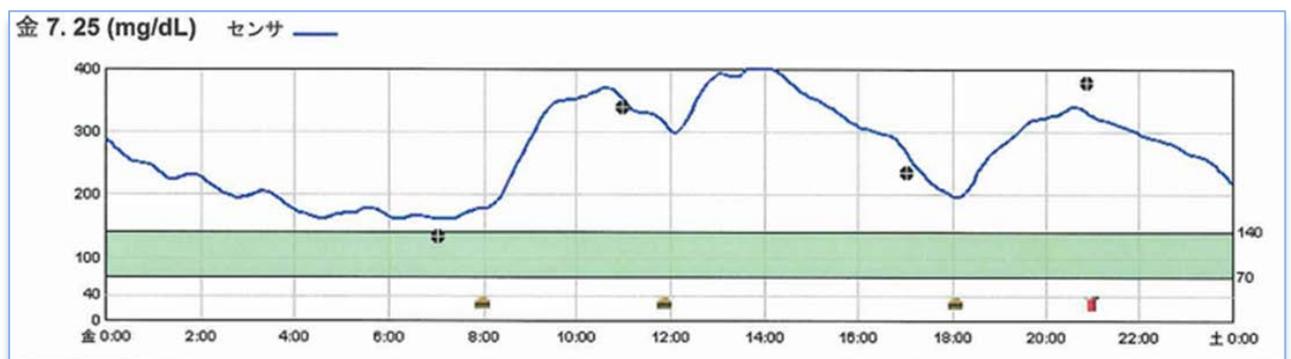
血糖値の変動をみるためには、指先から少量の血液を採取して測定する自己血糖測定器が使われています。しかし、自己血糖測定器では、その時点の血糖値はわかりますが、睡眠中や工作中など、測定できない時間帯の血糖値の状態はわかりません。

そこで、このような 500 円玉程度の小さな CGM（血糖持続モニター）を腹部の皮下組織に専用のセンサを装着すると一定の間隔で 24 時間の血糖を継続的に測ることができます。



通常通りの生活が可能です。センサーはしっかり固定すれば、抜けるなどの心配はほとんどありません。また、防水保護しますので、測定期間中は特定の保護パックを用いればシャワー浴が可能です。

CGM を行っている間は、生活行動や、食生活を別紙に記録し、一日 4 回の血糖測定をおこなっていただきます。CGM から得られた血糖値の変動を照らし合わせることで、投与しているインスリンや血糖降下剤の量や種類が適切であるか、夜中や早朝に低血糖が起こっていないかなど、1 日の血糖値の変動が、グラフとして見るすることができます。また、6 日間連続して血糖測定ができるので、平日や週末の血糖変動の違いもわかります。



糖尿病患者さんのCGMデータ 一日の血糖変動

2型糖尿病患者さんの薬剤導入や変更時、インスリン治療中の血糖コントロール不良患者さん、糖尿病合併妊娠、妊娠糖尿病など食後高血糖管理が大切な患者さん、夜間低血糖や無自覚性低血糖の可能性が否定できない患者さんなどが適応です。

自己血糖測定器をお持ちの患者さんは、外来で検査が可能です。お持ちでない方は、入院での検査となります。

詳細は、内科外来(電話 022-236-5721)までお問い合わせください。